

令和 7 (2025)年度10月入学

令和 8 (2026)年度 4 月入学

東京都立産業技術大学院大学
産業技術研究科(専門職学位課程)

学生募集要項

第 1 期入試 (7 /27(日) 実施)

第 2 期入試 (11/ 9 (日) 実施)

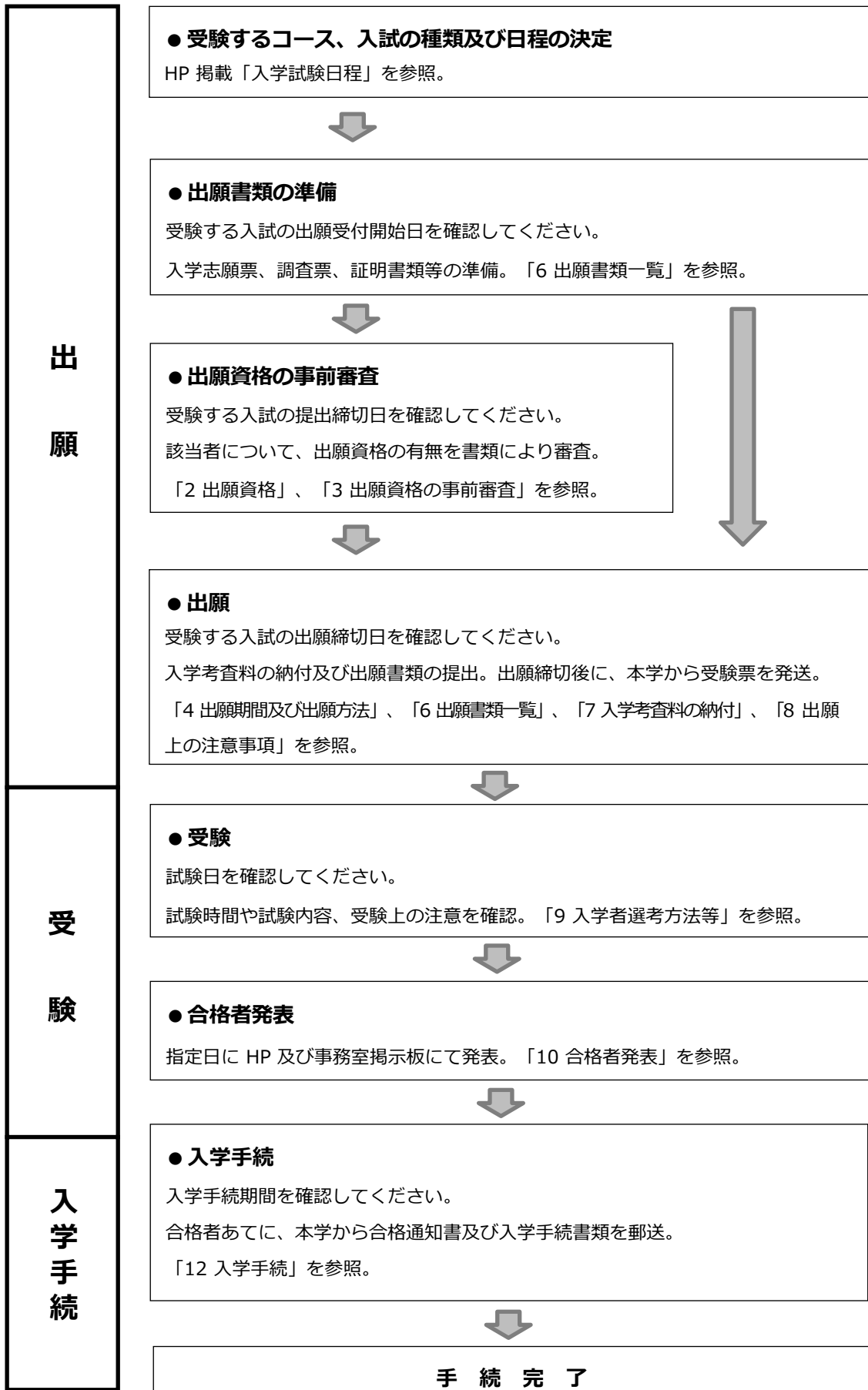
第 3 期入試 (1 /18(日) 実施)

第 4 期入試 (2 /15(日) 実施)

東京都公立大学法人

東京都立産業技術大学院大学

一出願から入学手続までの流れ



入 試 募 集 要 項 目 次

—1	入試概要	2
—2	出願資格	3
—3	出願資格の事前審査	5
—4	出願期間及び出願方法	7
—5	窓口受付可能時間	9
—6	出願書類一覧	10
—7	入学考査料の納付	13
—8	出願上の注意事項	15
—9	入学者選考方法等	15
—10	合格者発表	17
—11	コースのアドミッションポリシー	17
—12	入学手続	18
—13	入学料	18
—14	授業料	18
—15	個人情報に関する取扱い	19
—16	Q & A	19
	研究・職務経歴書（例）	21

——1 入試概要——

(1) 入試日程

入試	試験日	入学時期
第1期入試	令和7年7月27日(日)	令和7年10月 令和8年4月
第2期入試	令和7年11月9日(日)	令和8年4月
第3期入試	令和8年1月18日(日)	令和8年4月
第4期入試	令和8年2月15日(日)	令和8年4月 令和8年10月

※入試当日の試験実施が困難になった場合は、翌日を入試予備日とし、予備日に試験を実施する場合があります。

※試験開始時間は、本学より発送する受験票に記載いたします。なお、試験日時のご要望や変更に応じることはできません。

(2) 入試種別

一般入試、自己推薦入試、社会人対象特別入試、高専専攻科対象推薦入試、企業推薦入試、AIIT 単位バンク登録生（科目等履修生）向け入試、キャリア再開支援入試

(3) 募集人員

入学時期	コース	募集人数※
令和7年10月	事業設計工学コース	5名程度
	情報アーキテクチャコース	5名程度
	創造技術コース	5名程度
令和8年4月	事業設計工学コース	20名程度
	情報アーキテクチャコース	40名程度
	創造技術コース	40名程度

※募集人数は入学時期ごとに定めています。

——2 出願資格——

以下の(1)、(2)、(3)の全てを満たす者は出願することができます。

※(3)については、受験を希望する入試種別の要件を確認してください。

(1) 以下の①～⑩のいずれかに該当する者

- ① 日本の大学を卒業した者及び入学月の前月末日までに卒業見込みの者
- ② 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び入学月の前月末日までに授与される見込みの者〔大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び入学月の前月末日までに授与される見込みの者〕
- ③ 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び入学月の前月末日までに修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び入学月の前月末日までに修了見込みの者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者及び入学月の前月末日までに修了見込みの者
- ⑥ 外国の大学その他の外国の学校において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者及び入学月の前月末日までに授与される見込みの者
- ⑦ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び入学月の前月末日までに修了見込みの者
- ⑧ 文部科学大臣の指定した者〔（昭和28年文部省告示第5号）旧大学令による大学、各省庁組織令・設置法による大学校を卒業した者等〕
- ⑨ 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本研究科における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者
- ⑩ その他本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、入学月の前月末日までに、22歳に達する者（「3 出願資格の事前審査」を参照してください）

(2) 志望コースのアドミッションポリシーを理解し、本学における学修と入学とを強く志望する者

本要項「11 コースのアドミッションポリシー」を参照してください。

(3) 各入試種別の要件 ※受験を希望する入試種別の要件を確認してください。

・ **一般入試**

なし。

・ **自己推薦入試**

なし。

・ **社会人対象特別入試**

出願時に相応の実務経験のある者。相応の実務経験とは、試験日現在、3年以上の実務経験を有していることをいう。

・ **高専専攻科対象推薦入試**

次の①及び②の要件を満たす者

- ① 高等専門学校専攻科を入学月の前月末日までに修了見込みの者で、所属高等専門学校長が推薦する者。
- ② 合格した場合、本学に入学することを確約できる者。

・ **企業推薦入試**

次の①から⑤の要件を満たす者

- ① 本学の指定する企業に現在在籍しており、企業が推薦する者
- ② 試験日現在、本学の教育内容に関連する専門業務に、2年以上従事した経験を有する者
- ③ 修学に必要な能力、学習意欲及びコミュニケーション力を有する者
- ④ 勤務成績が優秀であり、かつ、心身ともに健全である者
- ⑤ 「3 出願資格の事前審査」で出願を認められた者

・ **AIIT 単位バンク登録生（科目等履修生）向け入試**

出願時に既修得として認定が可能な科目のうち、4科目（8単位）以上で評点4以上の成績を修めている者。

・ **キャリア再開支援入試**

結婚、出産、育児、介護等でキャリア※¹を中断し、復帰の意思があるか、若しくは復帰間もない者※²。

※1 3年以上の社会人経験を有すること。

※2 復帰して2年以内の者。

注意：同一期に複数の入試種別に応募することはできません。

3 出願資格の事前審査

(1) 入学資格対象者の個人の能力の個別審査の実施

該当する者に対しては、出願に先立ち、個別の入学資格審査により、出願資格の有無の確認（出願資格要件(1)の③、④、⑤、⑥、⑨）または大学を卒業した者と同等以上の学力の有無（出願資格要件(1)の⑩）に関する事前審査を実施する。事前審査に合格した者が入学試験に出願することができる。

(2) 事前審査の方法

事前審査は書類審査により実施する。

(3) 事前審査基準

次の①及び②の要件を満たす者を事前審査合格者とする。

① 下記の事前審査書類について定められた期限までに不備なく提出され、事前審査委員会の審議において十分な研究経歴、職務経歴、職務実績等を認められること。

② 出願資格(1)の⑩により出願する者

下記最終学歴以降の研究期間（専門に関する実務経験年数）等の要件を満たすこと。

<最終学歴以降の研究期間（専門に関する実務経験年数）等の要件>

ア 修業年限2年の短期大学卒業者 4年以上

イ 修業年限3年の短期大学卒業者 2年以上

ウ 高等専門学校卒業者 4年以上

エ 修業年限が2年以上の専修学校の専門課程の卒業者

大学の修業年限(4年)から専門課程を置く専修学校の修業年限を控除し、

2を乗じた期間以上の年数

オ 外国の大学の日本校、外国人学校、専修学校（専門課程を除く）、各種学校その他国内外の教育施設の卒業又は修了者

大学卒業までの最短就業年数(16年)から最終学校卒業又は修了までの最短修業年数を控除し、

2を乗じた期間以上の年数

カ 上記アからオまでに掲げる学校の退学者または除籍者

大学卒業までの最短就業年数(16年)から当該退学または除籍した学校の退学時または除籍時までの修業年数を控除し、2を乗じた期間以上の年数

※退学者もしくは除籍者の修業年数は、取得単位を基に計算しますので、成績証明書および卒業に必要な単位数を記載した書類を必ず提出してください。

※顕著な実績又は特に優れた成果がある場合は、最終学歴以降の研究期間（専門に関する実務経験年数）が満たない場合でも、合格する可能性があります。

(4) 審査書類

- ①「出願資格(1)」の③、④、⑤、⑥、⑨により出願する者

「6 出願書類一覧」の2～7

- ②「出願資格(1)」の⑩により出願する者のうち、日本の修士又は博士の学位を持たない者

・「6 出願書類一覧」の2～7

・「シラバスの授業との関連」説明

本学の志望コースのシラバスの授業科目のうち5科目程度の科目名を上げ、その授業の内容と「研究・職務経歴書」で説明が関連することを取り上げる科目ごとに説明してください。この説明は、本学をよく理解していることの評価に繋がります。

A4サイズ、フォントサイズ10ポイント以上、1頁以内、表題は「シラバスの授業との関連」と明記し、この用紙は、「研究・職務経歴書」の直後のページに追加してください。

・コースの専門分野に関して資格を有する者については、それを証明する書類

独立行政法人情報処理推進機構が実施する情報処理技術者試験の合格証明書等、資格を有することを証明する書類の写しなど。

- ③「出願資格(1)の⑩」により出願する者のうち、日本の修士又は博士の学位を持つ者

・「6 出願書類一覧」の2～7

・修士又は博士の学位を証明できる書類(修了証明書等)

- ④企業推薦入試の受験を希望する者

・「6 出願書類一覧」の2～7

・所属上司等※の推薦書（様式自由。）※ 出願者の職務上の実績を理解し、推薦が可能である者

(5) 提出先および提出方法

提出先 : 〒140-0011

東京都品川区東大井一丁目10番40号 東京都立産業技術大学院大学

教育企画・入試係 (TEL : 03-3472-7889 mail : aiit-kikaku@aiit.ac.jp)

提出方法 : **書留郵便またはレターパックプラス**で提出してください。窓口へ持参する場合は、必ず事前に教育企画・入試係へ連絡してください。締切を過ぎたものは原則受け付けませんが、やむを得ない事情により証明書等、期日までに揃わない書類がある場合は、締切3営業日前までに連絡していただき、指示を仰いでください。

※封筒に「事前審査書類在中」と記載してください。持参の受付や連絡が取れる時間は

「5 窓口受付可能時間」を確認してください。

出願資格を満たさない場合は、受験できませんので注意してください。

受理連絡 : 書類提出締切日から3日後を目途に、審査書類に記載されたメールアドレスに書類受理の連絡をいたします。

4 出願期間及び出願方法

(1) 出願期間及び出願方法（Web 出願を除く）

入試実施日	出願受付開始日	出願締切日	
		出願資格の事前審査及び 事前協議の書類提出締切 (郵送必着)	出願締切 (郵送必着)
第1期入試 (令和7年7月27日(日))	令和7年 5月28日(水)	令和7年 6月18日(水)	令和7年 7月7日(月)
第2期入試 (令和7年11月9日(日))	令和7年 9月10日(水)	令和7年 10月1日(水)	令和7年 10月20日(月)
第3期入試 (令和8年1月18日(日))	令和7年 11月12日(水)	令和7年 12月3日(水)	令和7年 12月22日(月)
第4期入試 (令和8年2月15日(日))	令和7年 12月24日(水)	令和8年 1月7日(水)	令和8年 1月26日(月)

提出先：〒140-0011 東京都品川区東大井1-10-40 東京都立産業技術大学院大学

教育企画・入試係（TEL：03-3472-7889 mail：aiit-kikaku@aiit.ac.jp）

角2程度の封筒に「第○期○○入試 ○○コース 出願書類在中」と記入の上、**書留郵便またはレターパックプラス**で郵送してください。事務室窓口へ持参して提出する場合は、事前に教育企画・入試係まで連絡してください。

(2) Web出願方法（※出願資格の事前審査対象者は不可）

本学では、一部の書類について、Web出願でも受付が可能となっております。Web出願の方法については、下記を参照してください。Web出願手続は、「Web出願資料のアップロード」および「必要書類の送付」を行うことにより完了します。Webのみで手続きは完了せず、原本の提出が必要な書類がありますので、不備の無いように注意してください。

①Web出願の手順

- ア. 本学HPに掲載されている入力フォーム（https://aiit.ac.jp/application/index_aasaklsaos.php）に従い、入試種別、入学時期を選択。メールアドレスを入力し、「出願資料アップロードする」をクリックしてください。
- イ. 入試種別ごとに、出願資料のアップロードをしてください。（志願票、調査票については本学指定の様式をHPにアップしておりますので、そちらに必要情報を入力後アップロードしてください。）なお、1ファイルあたり最大1MBの制限がかかっておりますので注意してください。
- ウ. 本学のプライバシーポリシーに同意していただける場合は、下記の「同意する」にチェックのうえ、「入力内容を確認する」ボタンをクリックしてください。
- エ. 入力内容を確認いただき、受付完了画面に進み、受付完了メールが届きましたら「Web出願資料のアップロード」は完了となります。
- オ. 「Web出願資料のアップロード」の完了後、以下書類は原本の提出が必要となりますので、必ず書留郵便またはレターパックプラスで郵送してください。（出願締切日郵送必着）

- ・最終学歴の成績証明書 および 卒業（見込）証明書※
- ・「振込証明書(A 票)」または「収納明細書」
- ・外国為替及び外国貿易法第25条第1項及び第2項の遵守のための特定類型該当性に関する誓約書
- ・受験票送付用封筒
- ・所属上司等の推薦書（企業推薦入試以外は任意）
- ・所属高等専門学校長の推薦書（高専専攻科対象推薦入試のみ）
- ・筆記試験に関する同意書（一般入試のみ）
- ・プレゼンテーション資料3部（プレゼンテーションがある入試のみ）
- ・住民票の写し（外国籍の方のみ）

※証明書の氏名が現在の氏名と一致しない場合、証明書と当該申請者が同一人物であることを証明できるもの（旧姓の記載のある住民票の写しまたは戸籍抄本）を提出してください。

- カ. 出願締め切り後、上記書類の受理が完了いたしましたら、本学より改めて受理メールをお送りいたします。本学からの受理メールをもって出願完了となります。

※出願期間外はアクセスできません。また、**出願最終日は正午で締め切ります。**

②Web出願に関するご相談

Web出願について不明な点がございましたら、下記まで連絡してください。

トラブルを防ぐため、出願締切を過ぎる前に早めに相談してください。

東京都立産業技術大学院大学 教育企画・入試係 入試担当

TEL : 03-3472-7889、mail : aiit-kikaku@aiit.ac.jp（相談受付可能時間 平日 9 : 00～17 : 45）

(3) 受験票の送付

受験票は、試験5日前までに発送いたします。試験2日前までに受験票が届かない場合は、教育企画・入試係まで連絡してください。

※持参の受付や連絡が取れる時間は「5 窓口受付可能時間」を確認してください。

5 窓口受付可能時間

教育企画・入試係へお問い合わせの際は、以下の受付可能時間を確認してください。

平日	土曜日	日曜日・祝日
9：00～17：45 ^{※1}	原則として受付不可 ^{※2}	受付不可

※1 17：45 以降でも受け付けられる場合がありますので、事前に相談してください。

※2 受け付けられる場合がありますので、事前に相談してください。

〒140-0011

東京都品川区東大井 1-10-40 東京都立産業技術大学院大学 教育企画・入試係 入試担当

TEL：03-3472-7889 mail：aiit-kikaku@aiit.ac.jp

6 出願書類一覧

(1) 全入試種別共通出願書類

次の表のものを提出してください。

書類等		提出該当者	摘要
①	入学志願票一式	全入試種別受験者	本学所定の用紙 ^{※2} 写真票・受験票は切り離さないでください。
②	調査票	全入試種別受験者 ^{※1}	本学所定の用紙 ^{※2}
③	出願に関する基本的質問事項	全入試種別受験者 ^{※1}	本学所定の用紙 ^{※2}
④	研究・職務経歴書	全入試種別受験者 ^{※1}	大学での学習・研究活動経歴（卒業論文等の説明）、または現在までの職務経歴を記入してください。この際、修得した専門知識、獲得したスキルが何であるか、その内容も含めて記述してください。 書式：A4サイズ、10ポイント以上、5頁以内 （本要項末尾に研究・職務経歴書（例）を掲載しています） 所属上司等の推薦書などがある場合は添付してください。（様式自由）
⑤	最終学歴の成績証明書	全入試種別受験者 ^{※1※3}	大学、大学院、短期大学、専門学校及び高等専門学校の最終学歴の成績証明書（証明書が英語以外の外国語の場合は、日本語又は英語訳添付）。ただし、修士又は博士の学位及び学士の学位を取得している場合は、学士の学位を取得した大学の成績証明書も必要です。 （発行日が出願日から起算して1年以内のもの。上記の教育機関において、中退等により卒業又は修了していないが単位を修得している場合は、その成績証明書を提出してください。）
⑥	卒業・修了（見込）証明書	全入試種別受験者 ^{※1※3}	左記のうち、該当する最終学歴の証明書を提出してください。（証明書が英語以外の外国語の場合は、日本語又は英語訳添付）。ただし、修士又は博士の学位及び学士の学位を取得している場合は、学士の学位を取得した大学の卒業証明書も必要です。（発行日が出願日から起算して1年以内のもの。）
	大学改革支援・学位授与機構が発行する		
	学士の学位授与証明書		
	短期大学長又は高等専門学校長の学位申請（予定）証明書		

⑦	入試出願書類 チェックシート	全入試種別受験者	本学所定の用紙※2
⑧	「振込証明書（A票）」 または「収納明細書」	全入試種別受験者	入学考査料は「7 入学考査料の納付について」 の記載に従って納付し、入学志願票の所定欄に 貼って提出してください。 ※4
⑨	外国為替及び外国貿易法 第25条第1項及び第2項の 遵守のための 特定類型該当性に関する 誓約書※5	全入試種別受験者	本学所定の用紙※2
⑩	受験票送付用封筒	全入試種別受験者	長3封筒に通常郵便料金に速達料金を加えた料 金の切手を貼り、住所・名前を記入してく ださい。
⑪	住民票の写し	外国籍の方のみ	住所が定まっていない場合はパスポートの写 しを提出してください。
⑫	試験出願にかかる協議 申出書	希望者のみ	提出日が他の書類と異なります。 「8 出願上の注意事項」(1)を確認してくだ さい。

出願締切日から3日後を目途に出願書類に記載されたメールアドレスに書類受理の連絡をいたします。

※1 「3 出願資格の事前審査」対象者を除く全員（事前審査で提出済みの場合、再提出の必要はありません。）

※2 本学ホームページで電子ファイルを公開していますので、そちらを使用してください。

https://aiit.ac.jp/admission/guidelines/application_document.html

※3 証明書の氏名が現在の氏名と一致しない場合、証明書と当該申請者が同一人物であることを証明できるもの（旧姓の記載のある住民票の写しまたは戸籍抄本）を提出してください。

※4 Web出願の場合は、入学志願票に貼らずに郵送してください。

※5 東京都立産業技術大学院大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、外国人等の受入れに際し厳格な審査を実施しています。規制されている事項に該当する場合は、希望する教育等受けられない場合がありますので、注意してください。

なお、出願書類と併せて、全ての出願者の方に「外国為替及び外国貿易法第25条第1項及び第2項の遵守のための特定類型該当性に関する誓約書」を提出していただきます。

◎安全保障輸出管理制度とは、日本を含む国際的な平和及び安全の維持を目的として、軍事目的に利用可能な貨物（装置・試料等）及び技術を、核兵器等の大量破壊兵器の開発を行っている国やテロリスト集団の手に渡さないようにするための管理制度で、日本においては、外国為替及び外国貿易法（外為法）に従って実施されています。

（経済産業省 Webサイト「安全保障貿易管理」<https://www.meti.go.jp/policy/anpo/index.html>）

(2) 各入試種別の出願書類

「(1)全入試種別共通出願書類」に加えて、入試種別に応じて下記の提出が必要です。

入試種別	筆記試験に関する同意書・小論文答案用紙	自己推薦書	プレゼンテーション資料(3部)	高等専門学校長の推薦書	キャリア再開計画書	経歴・スキルに関するエッセイ
一般入試	○					
自己推薦入試		○	○			○
社会人対象特別入試			○			○
高専専攻科対象推薦入試				○		
企業推薦入試						○
AIIT 単位バンク登録生(科目等履修生) 向け入試						○
キャリア再開支援入試			○		○	○

提出が無い場合には試験を受けることができませんので、必ず提出してください。

①筆記試験に関する同意書・小論文答案用紙

筆記試験に関する同意書は、本学ホームページで電子ファイルを公開していますので、そちらを使用してください。https://aiit.ac.jp/admission/guidelines/application_document.html

小論文答案用紙について、出願締め切り後に出願者に対し問題を通知します。指定した答案用紙に解答を記入し、指定期日までに大学に提出します。この評価について、解答の内容そのものよりは、その解答を得るまでに獲得した知識や考え方を面接時に聞くことで総合的に評価します。この答案用紙の返送が無い場合には試験を受けることができません。

②自己推薦書

ご自身が有する際立った能力または実績（資格を含む）の内容を記述し、本学での学び、または、産業技術の発展にそれがどのように貢献するかを記述してください。

書式：A4用紙、フォントサイズ10ポイント以上、5頁以内、表題は「自己推薦書」と明記してください。

③プレゼンテーション資料（3部）

別紙「各コース 各入試種別 プレゼンテーション試験要領」を参照してください。

④高等専門学校長の推薦書

推薦理由が具体的に分かるよう、本学所定の用紙に所属高等専門学校長が作成し、厳封してください。

⑤キャリア再開計画書

キャリア再開する動機、今後のキャリア展望、本学での学修がそれらにどのように影響するのか等、これらについての計画を記述してください。

書式：A4用紙、フォントサイズ 10ポイント以上、5 頁以内、表題は「キャリア再開計画書」と明記してください。

⑥経歴・スキルに関するエッセイ

所定の用紙に、HP に掲載している4つの質問から2つ選んで回答してください。各回答は最大400文字とします。回答用紙には、氏名、および回答した質問番号を明記してください。

—— 7 入学考査料の納付 ——

入学考査料は、30,000円です。以下のいずれかの方法で納付してください。

・ E - 支払いサービスを使用し、指定されたコンビニエンスストア、クレジットカード等

(別紙「東京都立産業技術大学院大学(国内からの出願) 検定料払込方法」・「東京都立産業技術大学院大学(国外からの出願) 検定料払込方法」・「Advanced Institute of Industrial Technology」を参照してください。)

・ 金融機関の窓口 (指定の振込依頼書を使用)

(振込手数料がかかりますので注意してください。その際の振込手数料は出願者の負担となります。)

- (1) 金融機関での振込の場合は「振込証明書 (A 票)」・ E - 支払いサービスを使用して納付した場合は「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納明細書」を、紛失しないように注意してください。出願の際に提出が必要です。なお、金融機関の領収日付印がないものは無効になります。
- (2) 郵便普通為替証書及び現金を出願書類に同封し、納付することはできません。
- (3) 災害によって被害を受けた場合、入学考査料を全額免除する制度がありますので、**考査料の振込前**に教育企画・入試係へ相談してください。

詳細は HP (<https://aiit.ac.jp/admission/scholarship.html>) に掲載しています。

- (4) 出願受理後の入学考査料は理由を問わず返還しませんので、出願について十分に検討した上で納付してください。

※入学考査料を納付したが出願しなかった場合又は入学考査料を二重に納付した場合等は、入学考査料の返還申請ができます。申請する場合は、教育企画・入試係までメールで連絡してください。申請に必要な手続きをご案内します。

※申請には入学考査料納付の際の「振込証明書 (A 票)」又は「入学検定料・選考料取扱書」の「収納明細書」が必要です。紛失しないように注意してください。

※振込依頼書を使用し金融機関の窓口で支払う際の注意点

- ① 本学が発行する振込依頼書以外では支払ができません。振込依頼書をご希望の場合は、大学窓口にお越しいただくか、出願締切の3営業日前までにメールにて振込依頼書送付先住所を記載したうえで請求してください。※「5 窓口受付可能時間」を確認してください。
- ② 振込依頼書の氏名等の欄をすべて記入し、切り離さず金融機関の窓口で現金を添えて提出してください。
- ③ みずほ銀行の本店・支店で振込む場合、振込手数料は不要です。みずほ銀行以外では振込手数料が必要となります。その際の振込手数料は出願者の負担となります。
- ④ ATM（現金自動預け払い機）、郵便局（ゆうちょ銀行）、外国銀行、ネット銀行および銀行のオンラインサービス（インターネット振込等）は利用できません。

8 出願上の注意事項

- (1) 身体の障がい等により受験上及び修学上特別な配慮を希望する方は、必ず出願資格の事前審査書類の提出期限までに事前協議に必要な「試験出願にかかる協議申出書」を教育企画・入試係に提出してください。
- (2) 受理した書類及び納入された入学考査料は返還することができません。
- (3) 出願手続き又は受験中に不正行為のあった者は、受験又は入学の許可を取り消します。
- (4) 出願書類は不備がないよう確認し、出願期間内に提出してください。やむを得ない事情があり書類が揃わない場合は、お早めに教育企画・入試係へ相談してください。
- ※連絡が取れる時間は「5 窓口受付可能時間」を確認してください。

9 入学者選考方法等

全ての入試種別において、本学全体および志望コースのアドミッションポリシーを十分に理解していることが求められます。この理解が不十分と判断された者は不合格となる場合があります。

(1) 選考方法

①一般入試の受験を希望する者

出願書類及び小論文、面接・口頭試問による総合評価

試験内容：小論文＋面接・口頭試問

試験時間：事前提出＋受験票に記載された時間

※ 面接・口頭試問では、小論文の内容、志望動機、受験生の専門分野などに関する質疑を行います。

②自己推薦入試、社会人対象特別入試、キャリア再開支援入試の受験を希望する者

出願書類及びプレゼンテーション試験による総合評価。

試験内容：プレゼンテーション試験(質疑応答含む)

試験時間：受験票に記載された時間

※ 別紙「各コース 各入試種別 プレゼンテーション試験要領」を参照してください。

③高専専攻科対象推薦入試、企業推薦入試、AIIT 単位バンク登録生(科目等履修生)向け入試の受験を希望する者

出願書類及び面接・口頭試問による総合評価

試験内容：面接・口頭試問

試験時間：受験票に記載された時間

※ 面接・口頭試問では、志望動機、受験生の専門分野などに関する質疑を行います。

(2) 第二志望制度

本学では、一般入試、自己推薦入試、社会人対象特別入試において「第二志望制度」を設けており、どのコースの組合せもできます。

- ・ 入学志願票・調査票・協議申出書に、志望記入欄がありますので、こちらの制度を利用する方は第一志望と第二志望を記入してください。第二志望での入学を希望しない方は記入しないでください。
- ・ 上記の書類で記入した志望が異なる場合は、入学志願票の志望を採用します。
- ・ 第一志望の合格基準に満たなかった場合、第二志望の合格判定を行います。

(3) 受験場所

オンライン試験（受験の環境は別途指定します）※大学構内で受験することはできません。

(4) 試験開始時間

試験5日前までに、試験開始時間を記載した受験票を郵送いたします。試験2日前になっても受験票が届かない場合は、教育企画・入試係まで連絡してください。

なお、試験日時のご要望や変更に応じることはできません。

(5) 受験にあたっての注意事項

オンライン試験の受験方法は別途指示します。受験の際は、必ず受験票を提示してください。

不正があった場合は、厳正に対処します。

なお、試験当日に災害等が発生した場合は、試験開始時刻を繰り下げることがあります。

10 合格者発表

試験日後、指定日にホームページ上で合格者の発表を行います。同日・同時刻に、本学事務室前の掲示でも確認できます。

※合格者発表ページの URL は受験者に別途送付します。

※合否について電話、郵便、電子メール等での問合せにはお答えできません。

合格者へは、東京都立産業技術大学院大学から郵送で入学書類一式を送付します。

なお、入学書類が合格発表日から 6 日以上経っても届かない場合は、教育企画・入試係まで連絡してください。

※連絡が取れる時間は「5 窓口受付可能時間」を確認してください。

11 コースのアドミッションポリシー

コース名	アドミッションポリシー
事業設計工学 コース	1. 進歩を続ける産業技術や動的に変化する環境に対して、体系的、論理的な理解力を身につける努力を惜しまない人 2. 最新の産業技術や先端的なビジネスモデルに関する体系的知識を身につける意欲のある人 3. 身につけた理解力と知識を総合的に活用して、事業イノベーションを起こすことができる能力を修得することに挑む人
情報アーキテクチャ コース	1. 大学等で学んだ知識とこれまでの経験を論理的・体系的に整理する能力を身に付けようとする意欲があり、これらの知識と経験を基礎として、さらに発展的に学ぶ努力を惜しまない人 2. 当コースの教育システムを理解し、効率的に学ぶ計画性があり、チームやプロジェクトでの学修を通じて協調性とリーダーシップを発揮できる資質のある人 3. 最新の情報技術の動向を把握して、イノベーションや新しいビジネスによって社会貢献や社会改革をしたいという志を持つ人
創造技術 コース	1. 豊かな感性と体系的、論理的、計画的に思考する力、さらに優れたコミュニケーション力を身に付けようとする意欲があり、あわせて目的達成のために努力を惜しまない人 2. 最新のデザインエンジニアリングの動向を把握することで、地域やグローバル社会の課題を理解し、その解決に取り組む意欲のある人 3. ものづくりへの深い関心と旺盛な知的好奇心を持ち、環境に配慮し新たな創造に果敢に挑戦できる人

アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーの3ポリシーは本学のHP (<https://aiit.ac.jp>) [入学案内]⇒[3つのポリシー]に掲載しています。

12 入学手続

別紙「日程一覧」を確認してください。

入学手続期間内に入学料の納付および入学手続書類を提出しない場合は、入学辞退者として取り扱います。

入学手続書類は、入学手続期間内に到着するよう郵送してください。

なお、入学手続についての詳細は、合格通知書に同封する「入学手続案内」で確認してください。入学手続書類の受理の連絡は、**入学手続期間終了後**にメールにて行います。

13 入学料

(1) 入学料

東京都の住民 141,000 円

その他の者 282,000 円

入学手続完了後は、入学料は返還しません。

(2) 「東京都の住民」の認定

「東京都の住民」とは、本人又は配偶者若しくは一親等の親族が、入学日の 1 年前から引き続き東京都内に住所を有する者をいいます。その認定は、本人が都内に在住の場合は本人の住民票、その他の場合は都内に在住する親族等の住民票及び本人との親族関係を明らかにする戸籍抄本等の書類提出により行います。

(3) 「東京都の住民」としての認定手続について

該当する方は、本学が指定する書類（住民票記載事項証明書等）を提出してください。詳細は、合格通知書に同封する「入学手続案内」で確認してください。また、入学料については、減額・免除の制度があります。

14 授業料

年額 520,800 円

授業料の改定があった場合には、改定後の授業料が適用されます。授業料は、前期と後期の指定された期日までに、それぞれ年額の1/2を納付していただくことになります。また、授業料については、減額・免除・分納の制度があります。

—15 個人情報に関する取扱い—

東京都立産業技術大学院大学の入学選考におけるプライバシーポリシー

- (1) 本学への受験の際にお知らせいただいた氏名、住所等の個人情報については、入学者選考（出願処理、選考実施及び合格発表）及び入学手続きを行うために使用します。また、入学者選考に用いた試験成績は、今後の入学者選考方法の検討資料の作成等に使用することがあります。なお、入学者に関する情報は①教務関係、②学生支援関係、③授業料徴収に関する業務を行うために使用します。
- (2) 上記業務において、本学より業務の委託を受けた業者が、個人情報について適正な管理のための必要な措置を講じたうえで、その全部又は一部を使用することがあります。
- (3) 収集しました個人情報については、東京都立産業技術大学院大学が厳重に管理し、漏洩、不正流用、改ざん等の防止に適切な対策を講じます。

—16 Q & A—

—産業技術大学院大学全般について—

Q 長期履修制度について、教えてください。

- A 仕事の都合や育児、長期介護等の事情により、標準修業年限（2年）で修了することが困難な方で、かつ、3年間又は2年6ヶ月での履修を計画している方を対象として、長期履修制度を実施します。認められた修業年限でお支払いいただく授業料は、2年分の授業料です。（長期在学期間中に授業料が改定された場合は、改定された年度以降、改定後の授業料を基準に授業料が積算されます。）申請手続きは入学時のみです。

Q 専門実践教育訓練給付金の対象ですか。

- A 令和6年4月現在、情報アーキテクチャコースおよび創造技術コースは、専門実践教育訓練給付金の対象です。事業設計工学コースは、専門実践教育訓練給付金の対象ではなく、一般教育訓練給付金の対象です。条件がありますので、制度の詳細や利用方法につきましては、お住まいの地域の管轄のハローワークに確認してください。

Q 長期履修制度を利用する場合でも、専門実践教育訓練給付金の対象になりますか。

- A 長期履修制度を利用する場合は、専門実践教育訓練給付金を申請するは出来ません。

Q 入学料に関する都民認定について教えてください。

- A 「東京都の住民」とは、本人又は配偶者若しくは一親等の親族が、入学の日の1年前から引き続き東京都内に住所を有する者をいいます。都民認定に必要な書類等につきましては、本要項「13 入学料」を確認してください。

Q 文系出身でも授業についていけますか。最終学歴が高校卒業でも、授業についていけますか。留学生でも授業についていけますか。

A 本学には、職業、年齢、国籍等の異なる多様な学生が在籍しています。大学院説明会では、教員に質問する時間を設けておりますので、不安がある場合はぜひ参加していただき、相談してください。

—入試に関することについて—

Q 事前審査書類や出願書類を提出した後に、受理連絡はありますか。

A 事前審査および出願書類いずれも、締切日から3日後を目処に、出願書類に記載したメールアドレスに受領連絡をいたします。

Q 試験時間はいつわかりますか。

A 試験5日前までに、試験開始時間を記載した受験票を発送いたします。試験2日前になっても受験票が届かない場合は、教育企画・入試係まで連絡してください。

Q 試験日や試験時間の変更はできますか。

A 試験日や試験時間の変更はできかねます。

Q 事前審査に入学考査料はかかりますか。

A 事前審査に入学考査料はかかりません。事前審査に合格し出願される場合、出願締切日までに入学考査料を支払ってください。

Q 第2志望制度を利用する場合、入学考査料もそれぞれかかりますか。

A 第2志望制度利用の有無にかかわらず、入学考査料は一律30,000円です。

Q 10月入学と4月入学を併願することはできますか。

A 同じ期の入試で、10月入学と4月入学の併願をすることはできません。

Q 産業技術大学院大学内で受験をすることはできますか。

A 試験は完全オンラインで実施します。試験当日、本学に入構することはできません。

Q 一度不合格になった場合、再度出願することはできますか。

A 何度でも出願することができます。また、過去の入試の成績が影響することは一切ありません。

研究・職務経歴書（例）

令和〇〇年〇〇月〇〇日現在

氏名：〇〇〇〇

備考：本例に示す項目が全て入っていれば書式は自由とします。ただし、A4 サイズ、フォント 10 ポイント以上、5 頁以内としてください。

■ 研究・職務経歴

〇年〇月 〇〇〇〇〇〇〇〇株式会社入社
 〇〇〇〇部に配属

〇年〇月 〇〇〇〇部に所属
 現在に至る

■ 研究・業務内容

会社（組織）名	期間	業務内容と役割	修得した専門知識 獲得したスキル

■ 取得資格等

○年○月 ○○○○スペシャリスト

○年○月 ○○○○技術者

■ 得意分野／スキル

- ・ ○○○の設計
- ・ ○○○業務知識
- ・ ○○○○○